

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	1259.30	2021/2/15
High	1338.72	2021/2/16
Low	1225.28	2021/2/17
Close	1278.76	2021/2/19

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4241.00	2021/2/15
High	4542.00	2021/2/17
Low	4174.00	2021/2/17
Close	4334.00	2021/2/19

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	2289.00	2021/2/15
High	2422.00	2021/2/16
Low	2334.00	2021/2/19
Close	2381.00	2021/2/19

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	8052.00	2021/2/15
High	8200.00	2021/2/16
Low	7893.00	2021/2/19
Close	8061.00	2021/2/19



ニュースエクスプレス

プラチナ価格上昇、強い需要と新型コロナ南アフリカ変異種へのワクチン懸念から

ゴールドが新たな上昇へのきっかけを探る気運の中、プラチナは上げ基調となっており、投資家らはゴールド以外の貴金属に価値を見出しつつある。

プラチナの最大生産国である南アフリカで、新型コロナウイルスのワクチンをめぐり問題がプラチナ供給に影響を及ぼすとの懸念による需給バランスの変動でプラチナ市場は恩恵を受けている。

Kitco Newsによると先週、南アフリカ政府は英オックスフォード大学とアストラゼネカが共同で開発したワクチンの接種を中止すると発表。

小規模な治験の結果、同国で流行している新型コロナウイルスの変異株に感染している軽症から中程度の症状の患者に対して有効ではないという判断となったため。

さらに17日にNew England Journal of Medicineに掲載された実験結果によるとファイザーと独ビオンテックが共同開発したワクチンは南アフリカの変異株に対しては有効ではないとしている。

ソシエテ・ジェネラルのアナリストによると供給不足への懸念は長い間見られなかった強気相場を生み出しており、投機的なロングポジションは数年来の最大のものとなっている。

ABN アムロのアナリストはまた、18日のレポートでプラチナは他の投資商品のパフォーマンスを上回り、市場の需要の高まりで強気相場として予想価格を引き上げた。

<https://www.kitco.com/news/2021-02-18/Platinum-prices-rally-on-strong-demand-and-South-African-Covid-19-vaccine-concerns.html>

プラチナ6年ぶり高値 NY先物、投資需要が支え

主な貴金属のひとつプラチナ（白金）の国際相場が6年ぶり高値を付けた。2020年に一時過去最大に広がった金との価格差は縮小した。自動車用需要は低調だったが、投資需要が堅調。南アフリカの産出減少などを受け20年の白金供給が2年連続で需要を下回り、需給が引き締まっている。21年は需給の双方の回復が見込まれる。

国際指標のニューヨーク先物は9日に一時1トロイオンス1200ドルを超え、2015年2月以来の高値を付けた。日本時間10日の時間外取引でも同値圏で推移する。新型コロナウイルス禍に伴う需要の鈍化懸念で昨年3月に一時600ドルを割ったが、現在はコロナ禍前を上回る水準まで上昇。昨年一時1000ドル超に拡大した金との価格差も600ドル台まで縮小し、貴金属内における相場の出遅れ感が薄れてきた。

英精錬大手のジョンソン・マッセイ（JM）が10日公表した最新の需給報告によると、白金市場の需給バランスは20年に12.1トンの供給不足となった。不足幅は14年以來6年ぶり。南アの都市封鎖に伴う操業停止や大手鉱山会社の工場設備トラブルなどを背景に、供給量は前年比20%減の152トンとなった。総需要も同18%減の215トンとなったが、供給の減少幅が上回った。

21年は需給いずれもコロナ禍前への回復が見込まれている。ただ需給バランスの方向性は投資需要次第となりそうだ。「投資需要が過去2年の水準を大きく下回った場合、再び供給過多に戻る可能性もある」（JMの藤田幹生シニアマーケットアナリスト）。田中貴金属工業の金子智秋貴金属市場部長は「自動車需要の底入れで価格が上昇すると今度は地金やETFが売り手に回る可能性がある」とみる。

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQODJ094JX0Z00C21A2000000/>

プラチナ製剤治療後のEGFR変異肺がん治療で好結果 = 武田薬品

武田薬品工業は、上皮成長因子受容体（EGFR）エクソン20挿入変異を伴う転移性非小細胞肺がんの経口治療薬「モボセルチニブ（TAK-788）」の第1/2相試験で、良好な新データが得られたと発表した。モボセルチニブは同変異を選択的に標的とする低分子チロシンキナーゼ阻害薬（TKI）。

今回のデータは、プラチナ製剤ベースの化学療法歴を有する患者114人の結果を分析したもの。その結果、28%以上の奏効率が確認され、奏功期間の中間値が17.5カ月と持続的奏功を示した。安全性は管理可能であった。

<https://www.jiji.com/jc/article?k=2021020900552&g=bnw>

Translated by Kazuko Osawa, JBMA



WPIC直近の活動

- プラチナとパラジウムの相対取引市場(OTC)と先物市場がどのように機能し、さらにこの二つの市場がどのように影響し合っているか?詳しくはWPICの特集「プラチナとパラジウムの相対市場と先物市場の概要」をご覧ください。

- PEM 電解装置市場の急激な発展は、短期・中期的なプラチナ需要には大きな変化をもたらさないものの朗報には変わりない。詳しくはWPICプラチナ豆知識「グリーン水素で国際協力」(2021年2月10日をご覧ください)。

[https://platinuminvestment.com/files/sixtysecs/WPIC\\_60seconds\\_Greenhydrogencatapult\\_10022021.pdf](https://platinuminvestment.com/files/sixtysecs/WPIC_60seconds_Greenhydrogencatapult_10022021.pdf)



@wpicjapan